

安全上の注意

- 取り付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けをおこなってください。
 - ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- 警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。**
- 注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。**
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
- 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
 - 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
分解・修理・改造禁止
- 交流 100 V 以外では使用しないこと
使用禁止
- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
埋込禁止
- アースを確実に取り付けること
アースを取り付ける
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
取付注意
- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
取付注意
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
取付注意
- アースを専用コンセントおよびブレーカーを設けること
取付注意
- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
取付注意
- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
取付禁止

警告

- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
取付注意
- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
取付注意
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
取付注意
- アースを専用コンセントおよびブレーカーを設けること
取付注意
- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
取付注意
- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
取付禁止

注意

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）
使用禁止
- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
取付禁止
- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
取付禁止
- 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること
取付注意
- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
取付注意
- 落下によりけがをされるおそれがあります
取付注意
- 部品を取り付けは確実におこなうこと
取付注意
- 落下によりけがをされるおそれがあります
取付注意
- 作業は 2 人以上でおこなうこと
取付注意
- レンジフードは約 42/43kg の重さがあります
取付注意

取り付け上のお願

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。
 - ・大工工事【設置のための下地工事等】
 - ・配線工事【コンセントの設置、コンセント・コネクタ利用以外の配線接続等】
 - ・管工事【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】
- 流通業者（販売店）を通じて組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。
- ダクトの不燃処理について
 - ・ダクトを 50mm 以上の不燃材料、または 20mm 以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
 - ・施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」「検査要領書」に従ってください。
- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。捕集性能が低下します。
- 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は 400m²/h 時 50Pa 以下のものをご使用ください。防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気性能をいじしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
- レンジフードは調理機器の真上に取り付けください。なお、レンジフードの下端が調理機器の真上 80cm 以上になるようにしてください。
- レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。また、横方向 50cm 以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。
- 製品の仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
- 部屋の中央で調理される場合は、油煙が捕集されませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
- 建物が密閉されている場合は必ず、約 400cm²程度の空気取入口を設けてください。
- 寒い地域ではダクトが結露しレンジフード内に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。
- ダクトは必ず屋外側に向けて下向き配管を設けてください（目安：1/100～1/50 程度）。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。
- 汚れを除去する際は、シンナー等の有機溶剤を使用しないでください。塗装が変色したり、はがれたりすることがあります。
- 同時給排モデルのレンジフードをお使いの場合でも、建物の気密性によって給気が必要となる場合があります。その場合は別途空気取入口を設けてください。

警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
分解・修理・改造禁止
- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
埋込禁止
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
取付注意
- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
取付注意
- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること
取付注意
- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
取付注意
- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
取付禁止

注意

- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
取付禁止

取り付け前の調査と準備

1 取付箇所の強度確認
製品を支える強さが必要です。

製品単体質量	製品総質量
750 幅	42kg
900 幅	43kg

2 天井面への穴あけ（取付詳細図 1）
1) 天井面のレンジフードを取り付ける位置に開口 555mm × 奥行 416mm の開口をあけてください。
2) 開口部周辺を補強してしてください。
※補強は、野縁・野縁受け等に固定してください。

3 吊りボルトの取り付け（取付詳細図 2）
レンジフードの吊りボルト位置に合わせて、吊りボルトを埋め込んでください。
※吊りボルトは、M10～12 を用いてください。※吊りボルトは製品を支える十分な強度を確保してください。必要とする強度は、建物の条件、耐震クラスなどにより異なります。

4 排気ダクトの取り出し（取付詳細図 2）
φ150 のスパイラルダクトを、取付詳細図 2 の位置に取り出してください。

5 標準取付法
本製品の標準取付法は、調理機器の上面から製品の下端まで 80cm 以上です。※火災予防条例では、グリッドフィルターの下端が調理機器の真上 80cm 以上必要となります。

6 電源コンセント・ブレーカー
電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。（交流・単相 100V）コンセントは、JIS C 8303 2 種接地極付差込接続器 15A 125V をご使用ください。

取付要領図
（単位：mm）

付属品

- トラスねじ (M5 × 10) 5 本
フードと本体の固定に使用します。
- トラスねじ (M4 × 10) 4 本
別売ダクトカバーと本体の固定に使用します。
- 低頭ねじ (M4 × 8) 3 本
フードと煙道の固定に使用します。
- オイルバック 1 個
煙道に取り付けます。
- 煙道 1 個
フードに取り付けます。
- ソフトテープ 2 本
給・排気口とダクトとのすきまをふさぐのに使います。

各部のなまえ

製品寸法図

（単位：mm）

左側排気仕様

A寸法	750 幅	900 幅
製品総高さ	750	900

右側排気仕様

A寸法	750 幅	900 幅
製品総高さ	750	900

レンジフード設置条件

製品総高さ	A	設置寸法(例)
600-680	1600	2200-2280
	1650	2250-2330
	1700	2300-2380
	1750	2350-2430
	1800	2400-2480

1. 付属品の確認

注意

- 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをされるおそれがあります
手袋をする
- 付属品を確認します。
梱包箱から付属品を取り出し、上項の付属品一覧により不足がないか確認します。
- お願**
- 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
 - 床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をこなしてください。
 - 保護用のクッション材と固定テープは「3. フード・本体の準備」までは必ずおこなってください。（図 1-1）
 - フード天面に貼られている保護用テープは「7. 横ふた・前ふた・後ふたの取り付け」にて前ふた・後ふたを取り付けるまではがさないでください。（図 1-1）
 - 配線コード固定用テープは「4. 本体の取り付け」手順 7 のコネクタの接続まではがさないでください。（図 1-1）

2. 取付準備

警告

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けのこと
取付注意
- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
取付注意
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
取付注意

注意

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）
使用禁止
- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
取付禁止

取り付けかた

本書では右側排気仕様で説明しています。左側排気の場合は左右対称として見てください。

1 事前に管工事業者（法的有資格者）へ天井面へのダクト穴の開口を依頼してください。（図 2-1）
また、天井開口部近くの補強機または野縁等に専用コンセントを設置します。

2 φ150 のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを図のようにレンジフードの上部に突き出すようにセットして、周囲を仕上げます。（図 2-1）

3 M10～12 の吊りボルト（取付作業側手配）を 4 本、天井内の梁などの頑健な部分に固定します。固定ピッチは前後 310mm、左右 540mm です。（図 2-1）

お願

- 天井面からの吊りボルトの突き出し長さ (A) おびダクトの突き出し長さ (B) は、製品総高さ（範囲：600～680mm）により異なります。製品寸法図を参考にし、次式により算出してください。

製品総高さ	吊りボルトの突き出し長さ (A)	ダクトの突き出し長さ (B)
600	330 (+10) まで	115 (+10)
680	410 (+10) まで	195 (+10)

吊りボルトの突き出し長さ (A) = 「製品総高さ」 - 270
ダクトの突き出し長さ (B) = 「製品総高さ」 - 485

3. フード・本体の準備

お願

- はずしたねじは取り付けの際に使用しますのでなくさないでください。
- はずした部品は変形させないよう、平らな場所に置いてください。また、はずした部品で床などにキズをつけないようご注意ください。
- 金具の変形防止のため、(図 3-1) のように必ず天パットの上に仕切パットを載せ、その上にフードを置いて作業してください。

■ フードの準備

1 整流板をはずします。
1) 保護用のクッション材をはずし、整流板の左右にあるストッパーを押してはずします。（図 3-1）

2 整流板を手で支えながらゆつゆと引き上げ、後ろを持ち上げてフード引掛け部からはずします。（図 3-2）
※必ず左右同時にはずしてください。金具の変形の原因になります。

■ 本体の準備

1 前ふた・後ふたをはずします。
前ふたの下端を手前に引いては、前ふたを持ち上げて上部の脱落防止金具を横ふたからはずします。同様の手順で後ふたもはずします。

2 横ふたをはずします。
※前側とははずし方は同じです。
横ふたを固定している取付ねじ (M4 × 8) 4 本をはずし、横ふたをはずします。
※取りはずしたねじは「4. 本体の取り付け」にて再度使用しますので、なくさないでください。

3 給気アダプターをはずします。
取付ねじ (M4 × 8) 6 本をはずし、給気アダプターをはずします。

4 本体カバーをはずします。
本体の下側面にある本体カバーを止めている取付ねじ (M4 × 8) 各 3 本をはずし、本体カバーを前後ともはずします。

5 ソフトテープを貼り付けます。
給気口・排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。

■ 右側排気仕様の場合

■ 左側排気仕様の場合

4. 本体の取り付け

注意

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
落下によりけがをされるおそれがあります
- 部品の取り付けは確実におこなうこと
落下によりけがをされるおそれがあります

1 レンジフードの固定位置を決めます。（図 4-1）
1) 右図を参照し、次式によりマーカ位置 (X) の値を算出してください。
X = 「天井高さ」 - 「床から調理機器上面までの高さ」 + 800 + 290
例：天井高さが 2250mm、床から調理機器上面までの高さが 850mm の場合
X = 2250 - (850 + 800 + 290)
天井からのマーカ位置 (X) は 310mm となります。

2 吊りボルトにマジックペンなどで、天井から X の値の位置にマーカをつけます。

2 ダクトカバー（別売品）を取り付けます。（図 4-2）
ダクトカバーに付属の座付ねじ (φ5.1 × 25) 4 本でダクトカバーを天井面に固定します。

3 吊りボルトにナットを取り付けます。（図 4-3）
M10～12 のナットおよびワッシャー（取付作業側手配）を吊りボルトのマーカ位置まで差し込みます。

4 本体カバーを戻します。（図 3-5）
本体の下側面にある本体カバーを止めている取付ねじ (M4 × 8) 各 3 本をはずし、本体カバーを前後ともはずします。

5 ソフトテープを貼り付けます。（図 3-6）
給気口・排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。

取り付けかたは裏面に続きます。

こちら側は裏面です。必ず表面からお読みになり、正しく取り付けをおこなってください。
安全上のご注意・取り付け前の調査と準備・取り付け上のお願いは表面をご覧ください。

取り付けかた

4 本体を吊りボルトに固定します。(図4-4)

- お願い**
- 本体を持ち上げる際は必ず下部を持ってください。上部を持つと変形の原因となります。
 - 吹出し口のある側がフードのスイッチ側(前側)となりますので、向きを確認して取り付けてください。

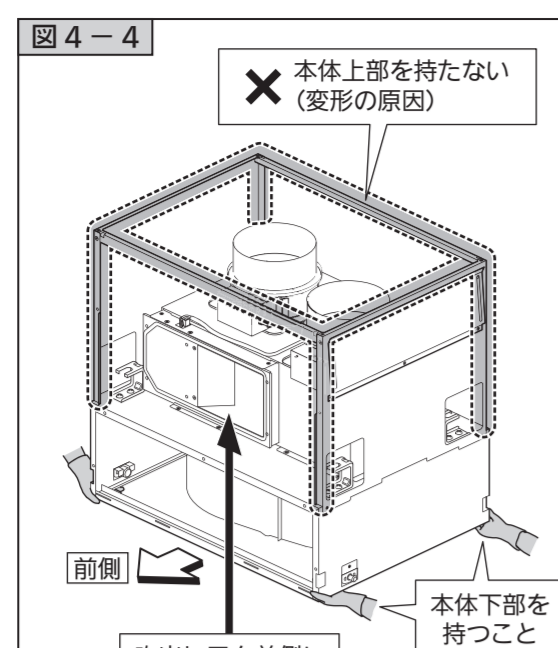


図4-4

1) 取り付けたダクトカバーを本体両脇のガイドで挟み込むように入れながら本体を持ち上げ、4ヶ所の吊り金具に吊りボルトを差し込み、吊り金具を挟み込むように吊りボルト下側からM10～12のワッシャーおよびナット(取付作業側手配)でしっかりと締め付けます。

- お願い**
- 給気用ダクトに給気口を、排気用ダクトに排気口を差し込みながら本体を持ち上げ、4ヶ所の吊り金具に吊りボルトを差し込み、吊り金具を挟み込むように吊りボルト下側からM10～12のワッシャーおよびナット(取付作業側手配)でしっかりと締め付けます。

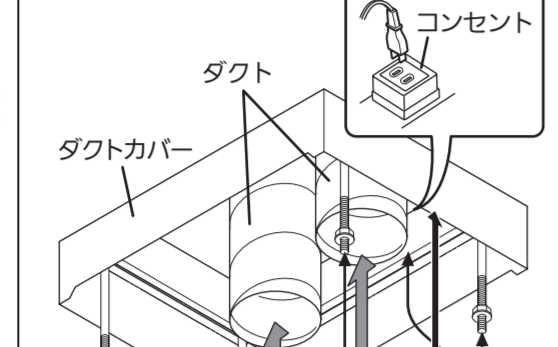


図4-5

2) 「5. 電気配線」を一読してから、電源プラグを天井裏などのコンセントに差し込みます。

- ※必ず分電盤のブレーカーを「切」にしてからおこなってください。
- ※必ずアース工事(D種接地工事)をしてください。

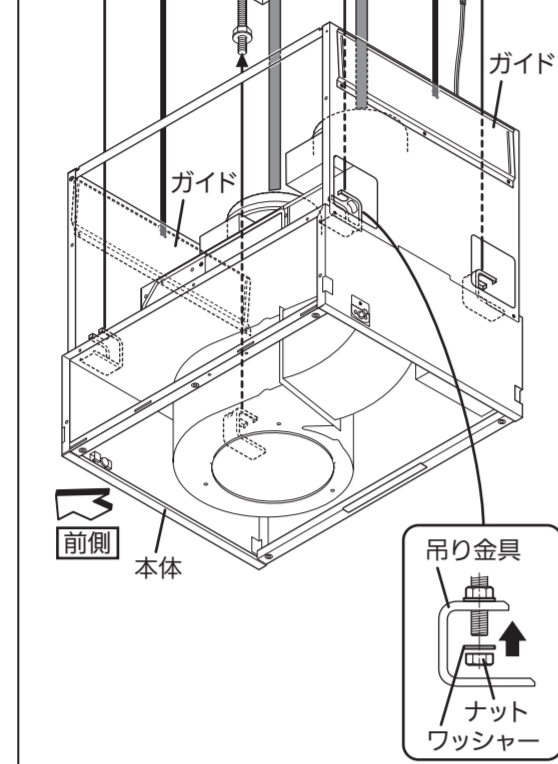


図4-6

5 ダクトカバーと本体(ガイド)を固定します。(図4-5)

- ガイドの底穴とダクトカバーの取付穴を合わせ、左右各2ヶ所を付属品のトラスねじ(M4×10)4本で固定します。

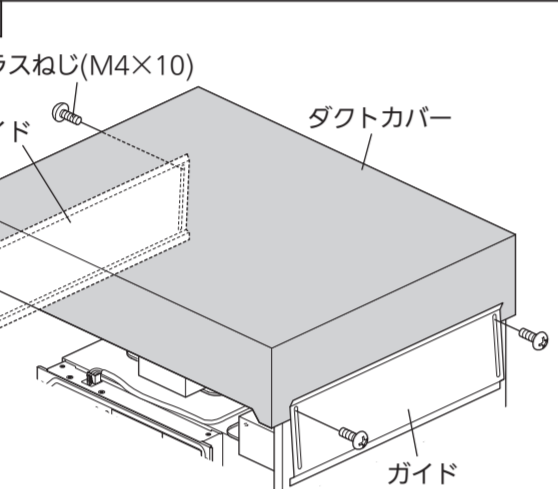


図4-5

6 フードを取り付けます。

- お願い**
- 保護用テープは「7. 横ふた・前ふた・後ふたの取り付け」にて前ふた・後ふたを取り付けるまではがさないでください。(図4-6)
 - 配線コード固定用テープは手順7にてコネクタを接続するまではがさないでください。(図4-6)

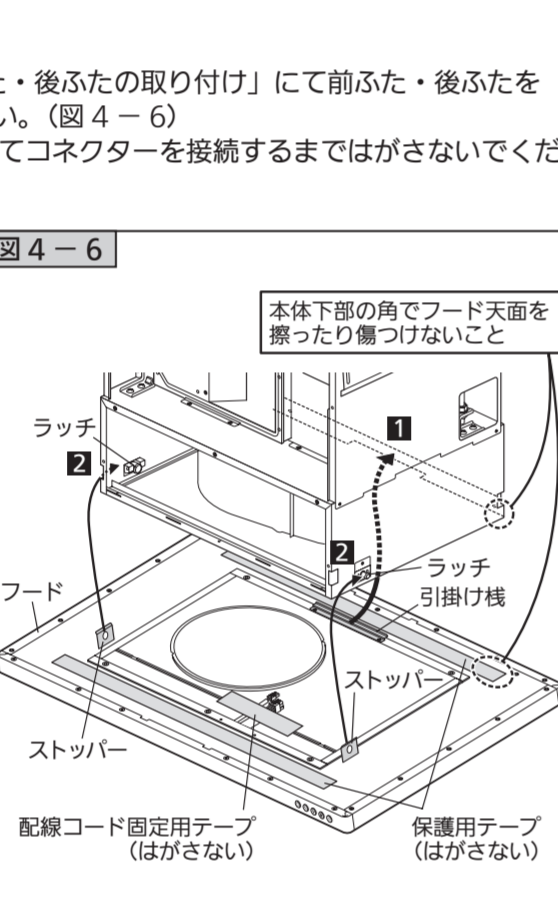


図4-6

1) フード後側の引掛け線を本体後側に引っ掛けます(図4-6-1)。

- お願い**
- 配線を挟まないようご注意ください。
 - 本体の角でフード天面を傷つけないようご注意ください。

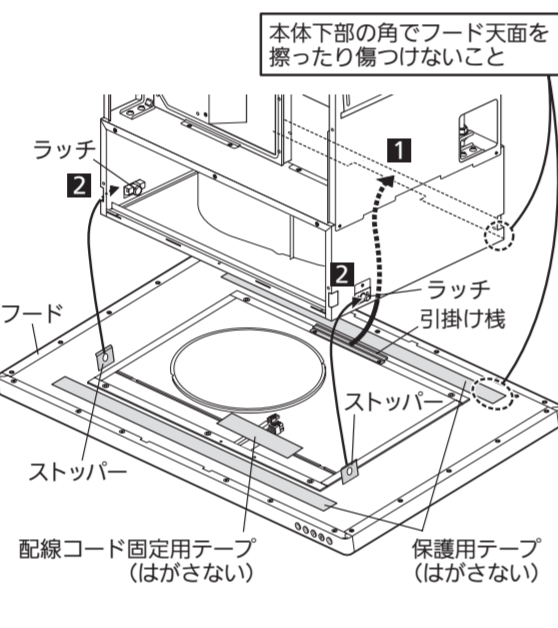


図4-6-1

2) フード前側を持ち上げ、ストッパーが本体のラッチに「カチッ」とロックされるまで持ち上げます(図4-6-2)。

- お願い**
- ストッパーとラッチが確実に引っ掛かったことを確認してください。ロックが不完全なまま作業を続けると、フードが落下するおそれがあります。

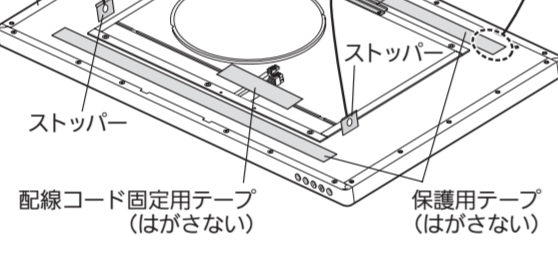


図4-6-2

3) 付属品のトラスねじ(M5×10)にて前側3ヶ所、後側2ヶ所を固定する前に、あらかじめ取付穴にねじを入れます。

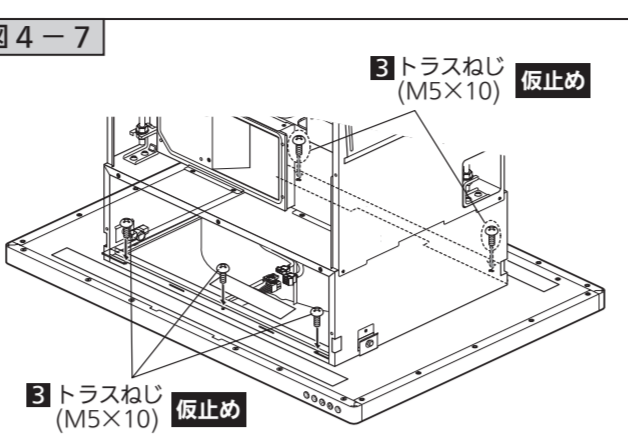


図4-7

7 コネクタを接続します。(図4-8)

- 配線コード固定用テープをはがし、フードから出ている電気配線のコネクタ2本を本体から出ている電気配線のコネクタに接続します。
- ※コネクタのピン数は製品仕様により異なります。
- お願い**
- コネクタの接続は確実におこなってください。接続が不十分な場合、正しく給気・排気ができなくなり、故障などの原因になります。
 - また、配線類を挟まないようご注意ください。
 - コネクタを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。

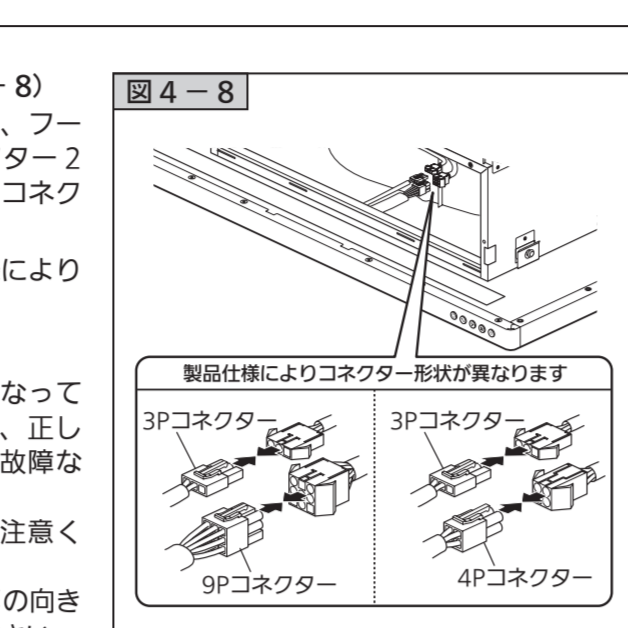


図4-8

8 ダクトと給気口・排気口の接続部に風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)をおこないます。(図4-9)

- 給気口・排気口設置面の漏風確認のお願い(図4-10)
- 給気口・排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトに接続しようとする、設置面(製品天面等)が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転(強運転)をおこなってください。漏風する場合は、給気口・排気口と設置面の周りをアルミテープ等(現場調達品)で漏風防止処置をおこなってください。

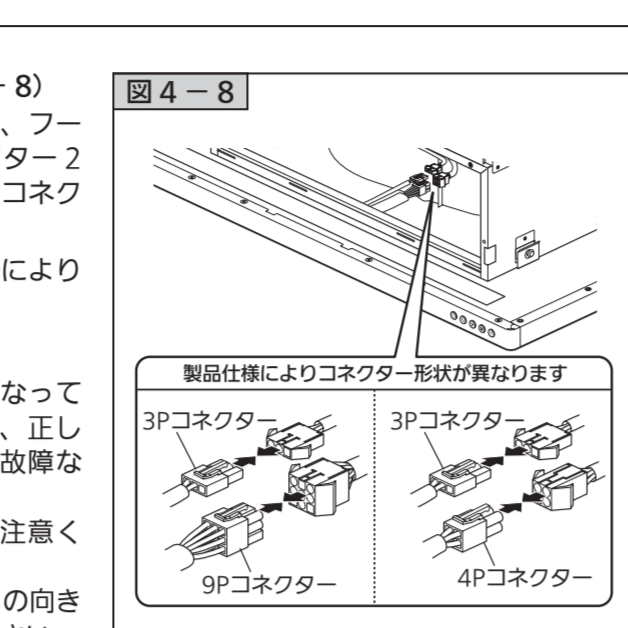


図4-9

9 煙道を取り付けます。(図4-11)

- 付属品の煙道をフード開口部の切り欠きとねじ穴に合わせ、付属品の低頭ねじ(M4×8)3本で固定します。
- お願い**
- 切り欠きとねじ穴が合わない場合は、手順6の3) (図4-7)で仮止めたねじを調整し、穴位置を合わせてください。

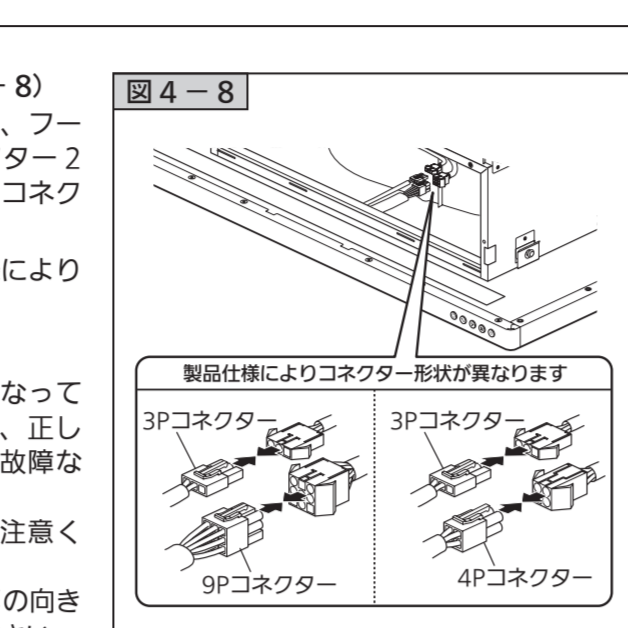


図4-11

10 手順6の3) (図4-7)で仮止めた前側3ヶ所、後側2ヶ所のトラスねじ(M5×10)をしっかりと締め付けます。(本編)

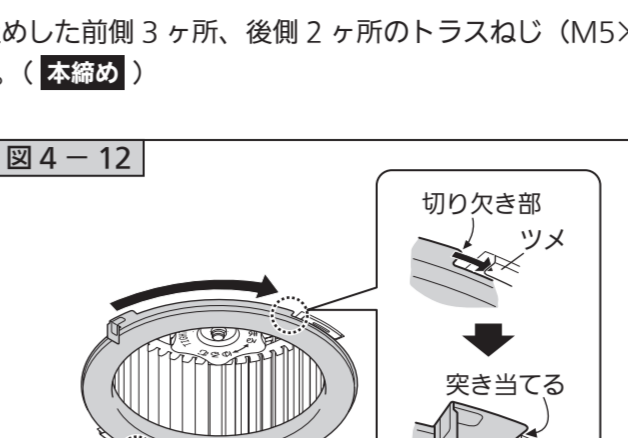


図4-12

11 オイルバックを取り付けます。(図4-12)

- オイルバックの切り欠き部をツメに差し込み、ツマミ部が突き当たるまで回します。

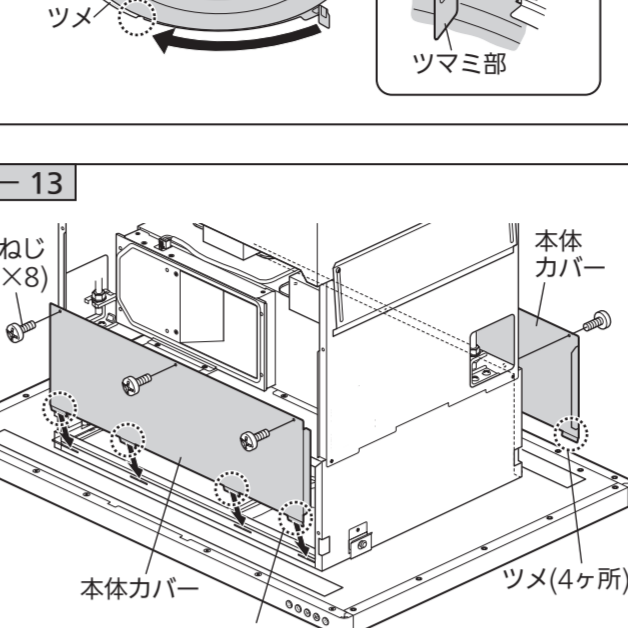


図4-13

12 本体カバーを取り付けます。(図4-13)

- 「3. フード・本体の準備」手順4で取りはずした本体カバー2枚を、本体の前側下側に取付ねじ(M4×8)各3本で取り付けます。
- お願い**
- 本体カバーのツメ(各4ヶ所)をしっかりと差し込んだことを確認した上で固定してください。

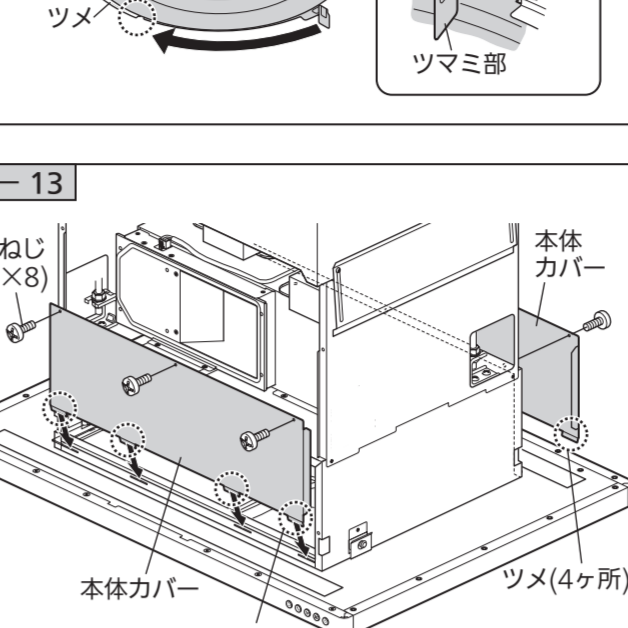


図4-14

13 給気アダプターを取り付けます。(図4-14)

- 「3. フード・本体の準備」手順3で取りはずした給気アダプターを取付ねじ(M4×8)6本で取り付けます。
- お願い**
- 「3. フード・本体の準備」手順3 (図3-4)を参考に、はずしたときと同じ向きで取り付けてください。

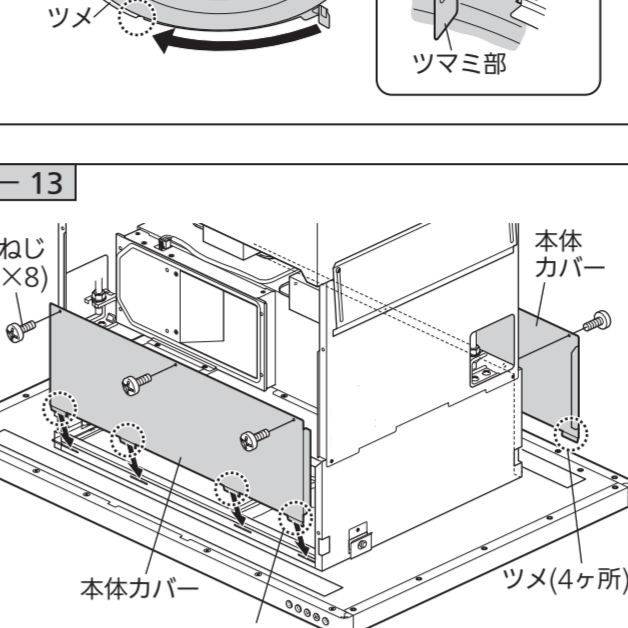


図4-14

14 整流板を取り付けます。

- 「3. フード・本体の準備」で取りはずしたときと逆の手順で整流板を取り付けます。

5. 電気配線



- 警告**
- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります
 - 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります
 - 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります
 - アースを確実に取り付けること
故障や高電圧のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください

「4. 本体の取り付け」手順4の2)で以下の作業をおこないます。

分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

- お願い**
- 電源は専用のコンセント(2極接地極付差込接続器 15A、125V)およびブレーカーを設けてください。
 - 「6. 試運転」までブレーカーは「入」にしないでください。
 - コンセントは電源コードの長さ(機外長約1m)を考慮し、設置してください。
 - 必ずアース工事(D種接地工事)をしてください。

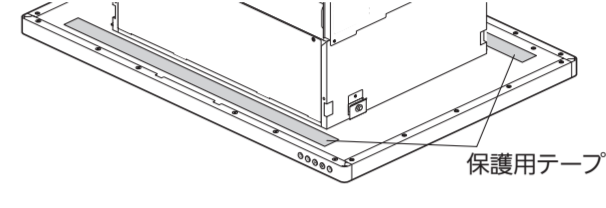
6. 試運転



- 注意**
- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります
- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速調の排気・給気が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

7. 横ふた・前ふた・後ふたの取り付け

- 横ふたは左右同一品です。
- 横ふたを先に取り付けください。
- 給気のある前ふたは必ず給気アダプターのある側に取り付けてください。
- 取り付けかたは「3. フード・本体の準備」の取りはずしかた(■本体の準備(図3-3))を参考にしてください。
- 前ふた・後ふたを取り付けた後、フード天面の保護用テープをはがしてください。



- 前ふたを取り付け後、前ふたのルーバーを調整して、給気風が直接天井面や顔に当たらない方向にセットしてください。

- お願い**
- 取り付ける際は、フード天面にキズをつけないように注意して取り付けてください。
- ※取付作業完了後は製品保護のため、はずした保護用のクッション材と固定テープはもとに戻しに取り付けてください。

8. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

【製造元】 **FUJIOH** 富士工業株式会社
 本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号
 TEL 042(768)3754 (営業部)

取付補足説明書

本製品は、付属の取付説明書に対して以下の点が異なります。

この取付補足説明書とレンジフードの取付説明書を合わせてお読みになり、

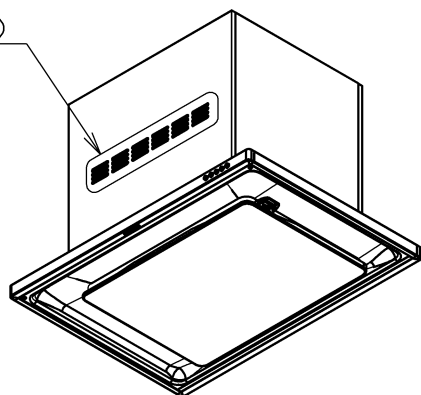
取り付け寸法を確認の上、正しく取り付けを行ってください。

「安全上のご注意」「取り付け上のお願ひ」「取り付け前の調査と準備」は付属の取付説明書と同様の内容で取り付けを行ってください。

●各部のなまえ

- ・前ふたの給気穴の形状が異なります。

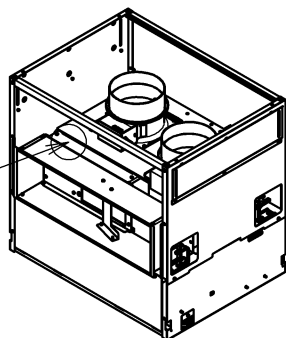
給気穴（長穴）



前ふたの取り付けを行う際は、給気穴（長穴）のある前ふたを必ず給気アダプターのある側に取り付けてください。

- ・本製品は、自然同時給排仕様となりますので、下記のように一部配線が異なります。

モーター出力線がありません



●取り付け前の調査と準備

	製品単体質量
750幅	37kg
900幅	38kg